

平成25年度 第1回中小企業振興会議農業振興検討部会 議事要旨

日 時	平成25年11月28日(木)午後1時40分から午後3時30分まで
場 所	総合庁舎12階 会議室
出席者	<p>農業振興検討部会委員 石井委員、上田委員、高田委員、高柳委員、出口委員、福田委員、秦委員、古川委員、米谷委員</p> <p>大林経済部長 事務局 大林経済部長 農政課 紀先課長、中洲総括主幹、田中主査</p>
案 件	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 副部会長の選出</li> <li>2. 東大阪市中小企業振興会議農業振興検討部会設置に至る経過について</li> <li>3. 東大阪市の農業の現状と、農政施策について</li> <li>4. 農業振興検討部会の進め方と検討テーマ</li> <li>5. 自己紹介</li> <li>6. 論議、その他</li> </ol>
議事要旨	<p>開会</p> <p>部長挨拶</p> <p>農業振興検討部会委員の紹介</p> <p>案件1【副部会長の選出】 中小企業振興会議規則第6条5項の規定に基づき、上田部会長より副部会長に多田委員を指名し、承認を受ける。</p> <p>案件2【東大阪市中小企業振興会議農業振興検討部会設置に至る経過について】 資料1-1、資料1-2、資料1-3、資料1-4、資料2-1、資料2-2、に基づき、紀先農政課長より説明。</p> <p>案件3【東大阪市の農業の現状と農政施策について】 資料3-1、資料3-2に基づき、紀先農政課長より説明</p> <p>案件4【農業振興検討部会の進め方、検討テーマについて】 案件4資料に基づき、紀先農政課長より説明</p> <p>案件5【各委員の自己紹介】</p> <p>案件6【論議、その他】</p> <p>(委員)今回については初回ですので組織としての位置付けの説明ということで、何かをまとめていくということではなく、むしろ現状確認でいいのかなと思っている。次回以降は委員方には将来的な方向性を議論していきたいと考えています。各自自己紹介交えていただいて、東大阪の農業に関わる様々な動きなりを報告いただいたが、何かご意見はどうでしょうか。</p> <p>(委員)東大阪では認定農業者200名近くいるが、近隣市と比べて面積の割に認定農業者の割合はかなり高いと思う。JAの指導もあってのこととは思いますが、より認定農業者の資格も取っていただいて、エコ農産物とタイアップして取組んでいただけたらと思う。</p> <p>(委員)先程の話の中で、職教育というところの農業体験で、今の子供たちが農業を体験することによって、将来の農を一つの職業の農として、そういう見方、子供たちの反応はどんなものでしょうか。</p> <p>(委員)米がこんな風に来るんだというところからスタートだと思う。ご飯茶碗の中の白く炊かれた米しか知らない子供がすごく多いし、そのご飯すら今はパックのものを使っている家もある時代なので、本当に産業というところまで繋がるかという、まだまだだと思ふ。子供たちはまずは一番最初に朝顔を、作ったプランターで、その次の年にはミニトマトかピーマンを植えたり、そういう小さな世界から始まって、農業体験といっても学校のミニ農園だったり、どこかの田んぼの一部を貸していただいたり、そこに何十人もの子供たちが入って、広い田んぼを1人2人で年間ずっと早朝から作業され、やっと収穫に入るところまで実感として分かるにはまだまだ難しい。本当に入門編のところかなという気がする。農家の子供もどんどん減ってきており、家がサラリーマンで米はどこで買うの…というところで、農業がなかったら自分たちの食生活が非常に困るし、そういう産業が廃れていくのは本当に憂うべきことなので、子供たちがもっと学年が上がった段階で中学生・高校生がそういう所に視点を向けないといけないと思う。</p>

(委員) 食農教育。手前味噌だが昭和 42 年の三市合併の翌年から農業委員に選出され、通算 6 期目ですが、一方地域では青少年指導員、子供育成会会長・PTA 会長、JA 役員も経験する中で、JA と連携しながら取り組んできた。最初は子供会でもち米を苗床・蒔・苗作・田植を手作業でして、収穫・脱穀・籾摺精米してクリスマス会で餅つきと取組み、小学校の授業として JA と協議しながら協力したこともある。食に関する懇談会、農政懇談会と、食と農両方の会議に参画してきた。農産物をいかに地域で消費していくか、行政・JA・生産者・地域と三位一体となって、地産地消や学校給食に米が提供されることは、結構なことだと思う。

(委員) 先程、情報不足という話あった。確かにフレッシュクラブのファームマイレージ事業についても以前とったアンケートの一部には「この制度そのものが知らなかった」ということもあり、そういう情報を発信する方法のところは 1 つのポイントとしてあるのかなと思う。次回の農政検討部会までの間に、各委員の皆様には今後の方向性のところが課題となると思うので、お汲みいただけたらと思います。

**【事務局】** 1 月下旬に次回部会を開催予定していますが、日程は部会長・副部会長と調整して案内する。  
ある程度絞った方向性・テーマについては、部会長と事務局で絞っていくことを報告する。

閉会